

群 教 セ	G06 - 01
	平 17.230集

# 小学校保健指導における学習支援教材 「未来に生きる君たちへ」の作成と活用

特別研修員 鈴村 雅人 (富岡市立丹生小学校)

## (研究の概要)

本研究では、小学校保健指導において活用できる学習支援教材を作成した。本学習支援教材には、「たばこ・飲酒・薬物の害」に関する資料やクイズ及び誘われる場面を想定した動画を取り入れ、小学校6年生の体育・保健領域「病気の予防」や学級活動で活用することで、児童がそれぞれの害について調べることができるとともに、知識を確かめることができ、その知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付けられることを検証した。

**キーワード** 【保健体育教育 小学校 健康教育 学級活動 Web形式】

## 主題設定の理由

体育科の領域での保健の学習の配当時間は、第6学年は8時間である。配当時間の割には学習内容が多いことや、指導時期を学期末に計画していること、実験や資料の準備の手間がかかることなどから、教科書に書かれている知識を教え込む指導になっている。そのため、あまり印象に残らない学習になっていることが多い。このことは、6年生23名にとったアンケートからも明らかになった。保健の学習が「好き」と答えた児童は7名、「嫌い」と答えた児童は3名、「どちらでもない」と答えた児童は13名であり、さらに、「どのような学習方法ならば保健の学習が楽しくなるか」という問いには、「調べ学習をしたり、自分で考えたりする学習」と答えた児童が11名であった。これらのことから保健の学習においては、視覚に訴える資料や教材を準備し活用したり、問題解決的な活動を取り入れたりして学習過程を工夫していくことが大切であると考えられる。

第6学年では、「病気の予防」を学習する。その学習内容の中に、「喫煙・飲酒・薬物乱用防止」がある。これは、喫煙・飲酒・薬物乱用の問題が、年々低年齢化してきているということが大きな社会問題になっているということが背景にある。しかし、実際の指導の場面では、それぞれの害を強調する内容が中心で、子どもの実践的な態度を育てていくような学習が十分に進められていないのが現状である。このため、喫煙・飲酒・薬物は、体に悪いとわかっていながら、他者からの誘いを断れない、興味本位で手を出してしまうというケ

ースが多い。従って、保健の学習の時間では知識を学習することを目指し、学級活動の時間では誘いを断ろうとする態度を育てることを目指すなど、計画的・系統的な保健指導としての指導計画を工夫することが必要である。

以上のことから、たばこ・飲酒・薬物の害に関する保健指導において、教科書や写真などの資料をもとに知識を与えるだけではなく、それぞれの害について自分で調べ、知識を確かめることができ、その知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付けることができる学習支援教材「未来に生きる君たちへ」を作成しようと考え、本主題を設定した。

## 研究のねらい

調べることができる、知識を確かめることができる、知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付けることができる学習支援教材を作成し、たばこ・飲酒・薬物の害に関する保健指導で活用することにより、その有効性を明らかにする。

## 研究の見通し

以下のような手だてにより、Web形式でまとめれば、たばこ・飲酒・薬物の害に関する保健指導において、調べることができる、知識を確かめることができる、誘いを断ろうとする態度を身に付けることができる学習支援教材が作成できるだろう。

たばこ・飲酒・薬物の害について調べるために、それぞれの害についての知識や資料を載せたページや、調べ学習用のワークシートを作成する。

たばこ・飲酒・薬物の害についての知識を確かめるために、クイズのページや実験のページ、豆知識のページを作成する。

知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付けるために、実際に誘われることを想定した場面での自分の行動を考えさせるペープサートを使った物語や、自分の考えを書くワークシートを作成する。

## 研究の内容

### 1 学習支援教材の概要

#### (1) 基本的な考え方

本学習支援教材は、児童や教師が簡単に操作できるようにWeb形式で作成する。また、「調べる」活動、「知識を確かめる」活動、「知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付ける」活動を効果的に進めるために、以下のようにページを作成する。

#### ア 「調べる」活動

たばこ・飲酒・薬物の害についての内容を説明したページを見せながらワークシートに分かったことを記入させることで、調べる活動ができるようにする。ワークシートのページはPDFファイルの形式で作成し、それをそのまま印刷して使えるようにする。

#### イ 「知識を確かめる」活動

たばこ・飲酒・薬物の害に関わる問題に答えるクイズのページ及びそれぞれの害に関わる実験の動画を見ることができるページ、豆知識を資料と

して載せるページを作成する。

クイズのページは、操作が簡単で、分かりやすくするためにJavaScriptを使って作成する。それらのページをとおして、たばこ・飲酒・薬物の害についての知識を確かめることができるようにする。

#### ウ 「知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付ける」活動

たばこ・飲酒・薬物の害について、実際に誘われる場面を、ペープサートを活用した物語の動画を作り、自分だったらどのように答え行動するかについて考えさせる。

#### エ 活用場面

「調べる」活動及び「知識を確かめる活動」は主に保健の学習の時間で行い、「知識をもとに実践しようとする態度を身に付ける活動」は、主に学級活動の時間で行う。

#### (2) 動作環境

〔基本OS〕 Microsoft Windows 98以降推奨  
〔プラグイン〕 Microsoft Windows Media Player

#### (3) 学習支援教材の構成

本学習支援教材の構成は、図1のとおりである。

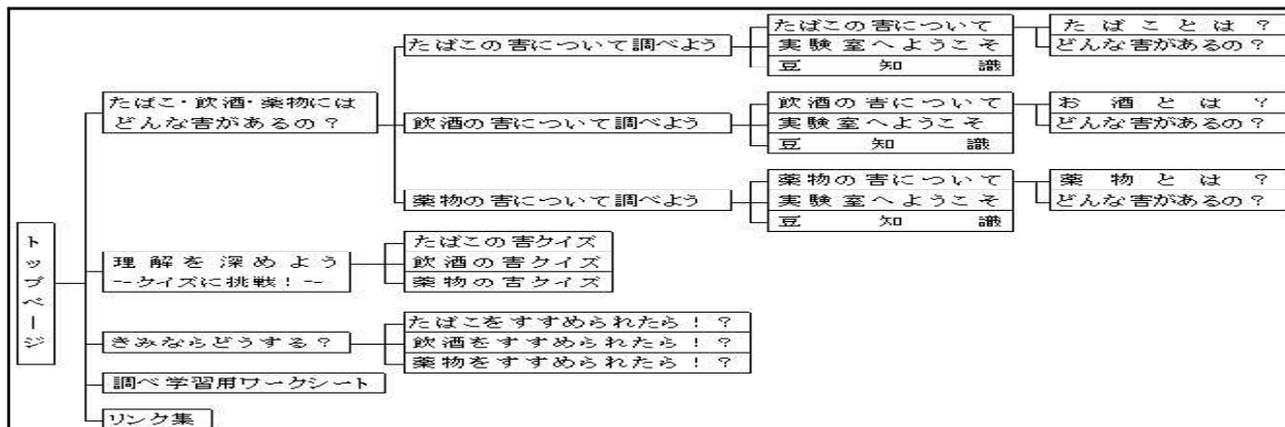
### 2 学習支援教材の内容

#### (1) 「トップページ」

左右2つのフレームに分け、左側をメニューフレーム、右側をメインフレームとして構成する。メニューフレームの表示により、全体の構成が一目で分かるようにした。

メインフレームからは、「たばこ・飲酒・薬物にはどんな害があるの?」、「理解を深めよう〜クイズに挑戦!〜」、「君ならどうする?」、「調べ学習用ワークシート」、「リンク集」のページ

図1 学習支援教材「未来に生きる君たちへ」の構成図



に進めるようにリンクを設定した(図2)。

図2 トップページ



(2) 「たばこの害について調べよう」

トップページの「たばこ・飲酒・薬物にはどんな害があるの?」を選択して進んだページでは、「たばこの害について調べよう」、「飲酒の害について調べよう」、「薬物の害について調べよう」が項目として表示されるようにした。

さらに、「たばこの害について調べよう」を選択して進んだページでは、「たばこの害について調べよう」、「実験室へようこそ」、「豆知識」が項目として表示されるようにした。「飲酒の害について調べよう」、「薬物の害について調べよう」を選択しても同様の項目が表示されるようにし、児童が混乱しないようにした。例えば「たばこの害について」では、「たばことは?」と「どんな害があるの?」のページを調べてワークシートに記入しながら学習を進められるようにした(図3)。「実験室へようこそ」では、たばこの害が視覚的に理解できるような実験を撮影した動画を見ることができ(図4)。「豆知識」では、たばこの害について児童に興味・関心をもちさせるために未成年者の喫煙を禁止している法律などの内容を表示するようにした(図5)。

図3 どんな害があるの?

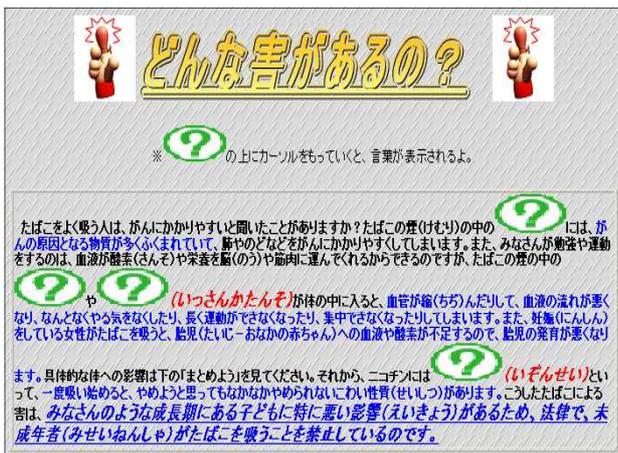


図4 実験室へようこそ

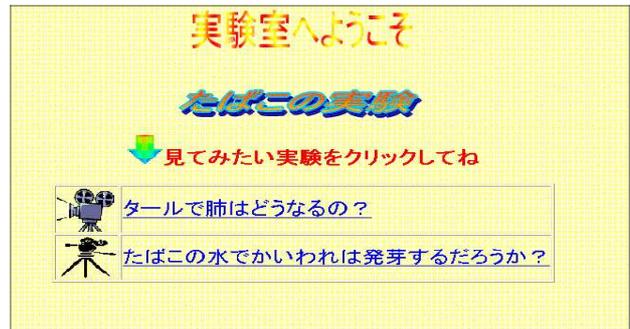


図5 豆知識



(3) 「理解を深めよう～クイズに挑戦!～」

トップページの「理解を深めよう～クイズに挑戦!～」を選択して進んだページでは、「たばこの害クイズ」、「飲酒の害クイズ」、「薬物の害クイズ」が項目として表示される。それぞれのクイズは、10問設定されており、内容はそれぞれの害についてのページの中にある知識を問うものとなっており、回答方法は三択式になっている。JavaScriptで作成し、正解数に合わせてメッセージが表示されるようにした(図6)。

図6 理解を深めよう～クイズに挑戦!～



(4) 君ならどうする?

トップページの「君ならどうする?」を選択して進んだページでは、「たばこをすすめられたら!」、「飲酒をすすめられたら!」、「薬物をすすめられたら!」が項目として表示される。

それぞれの項目は、ペープサートを使った物語の場が動画として設定されており、それぞれの場面の動画を見た後、ワークシートに自分の考えを書けるようにした(図7)。

図7 君ならどうする？



(5) 調べ学習用ワークシート

本学習支援教材を活用して、児童が主体的に調べ学習を行う際に、本学習支援教材の内容に即したワークシートを準備する。PDFファイルで表示し、印刷して使えるようにした(図8)。このワークシートには、保健の学習の時間に、それぞれの害について、児童が本学習支援教材を調べて分かったことを記述する。

実践の結果と考察

1 授業実践

単元名 飲酒・たばこ・薬物の害から自分の体を守ろう(教科書名 「みんなの保健」学研)

対象 富岡市立丹生小学校6年生(23名)

検証の観点

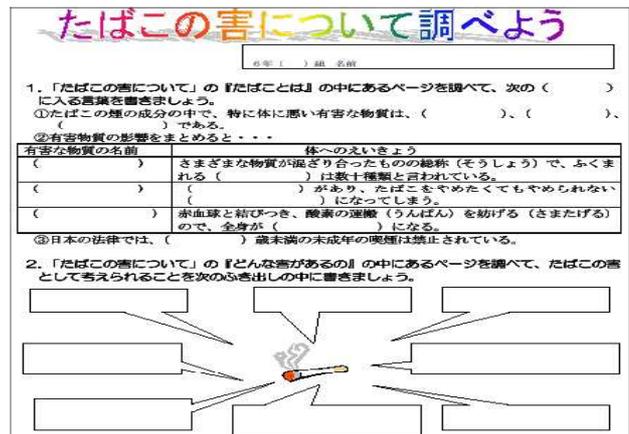
観 点	検 証 の 方 法
「調べることができる」	アンケートとワークシートによって有効性を検証する。
「知識を確かめることができる」	クイズの正解数やアンケート及び学習後の感想に書かれた内容によって、有効性を検証する。
「知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付けることができる」	ワークシートや授業後の感想の内容によって有効性を検証する。

2 指導の経過

(1) 保健の学習3時間(パソコン室)

時	主な学習活動( ) 本学習支援教材使用場面( )	支 援	児童の反応
1	飲酒の害について「未来に生きる君たちへ」を使用して調べ、ワークシートに分かったことをまとめる。	使用方法や調べるページを全体で確認したあとに、個別に調べさせる。 早くできた児童は、豆知識のページ	二人で1台のコンピュータを操作して調べさせたが、お互いに書いてあることを読み上げあったりするなど協力して調べていた。

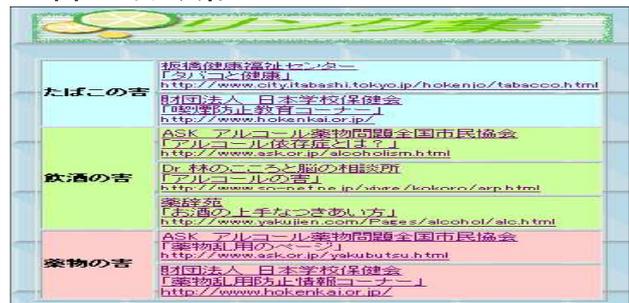
図8 調べ学習用ワークシート



(6) リンク集

「たばこ・飲酒・薬物の害」に関連するWebサイトへのリンク集を作成した。小学生にも理解できるようなWebサイトへのリンクを設定した(図9)。

図9 リンク集



保健 の 学 習	<p>飲酒の害についてまとめる。</p> <p>まとめとしてクイズに答えたり、実験のページや豆知識のページを見たりする。</p> 	<p>を見てもよいこととする。</p> <p>発育期や若い時期の飲酒が特に危険である理由を理解させるようにする。</p> <p>クイズは、一人一人が解答するようにし、学習の成果をきちんと受け止めさせる。</p> <p>実験のページは、教師のコンピュータから一斉に提示し、全員で一斉に見られるようにする。</p>	<p>二人でクイズに取り組みましたので、結果に対する達成感があまり実感できなかったようであった。</p> <p>鳥のレバーがアルコールにより白く固まってく動画を見ながら、「すごい!」とか、「こんなになるの?」と驚きの声をあげていた。</p>
2	<p>たばこの害について「未来に生きる君たちへ」を使用して調べ、ワークシートに分かったことをまとめる。</p> <p>たばこの害についてまとめる。</p> <p>まとめとしてクイズに答えたり、実験のページや豆知識のページを見たりする。</p> 	<p>早くできた児童は、豆知識のページを見ても良いこととする。</p> <p>発育期や若い時期の喫煙が特に危険である理由を理解させるようにする。</p> <p>クイズは、一人一人が解答するようにし、学習の成果をきちんと受け止めさせる。</p> <p>実験のページは、教師のコンピュータから一斉に提示し、全員で一斉に見られるようにする。</p>	<p>操作方法に慣れ、多くの児童が豆知識のページを見る時間があつた。</p> <p>自分が調べたことを意欲的に発表していた。</p> <p>クイズでは、一人一人が自分の力で解答するようにさせたとこ、結果を見て一喜一憂しながらも、学習の成果がきちんと確認できたようであった。</p> <p>たばこの煙で人形の肺がだんだん黒くなっていく様子を集中してじっと見ていた。</p>
3	<p>薬物の害について「未来に生きる君たちへ」を使用して調べ、ワークシートに分かったことをまとめる。</p> <p>調べたことを発表し、たばこの害についてまとめる。</p> <p>まとめとしてクイズに答えたり、実験のページや豆知識のページを見たりする。</p> 	<p>早くできた児童は、豆知識のページを見ても良いこととする。</p> <p>薬物には依存性があることをきちんと理解させるようにする。</p> <p>クイズは、一人一人が解答するようにし、学習の成果をきちんと受け止めさせる。</p> <p>実験のページは、教師のコンピュータから一斉に提示し、全員で一斉に見られるようにする。</p>	<p>同じ活動が続いたので、やや集中力に欠けていた児童が数名いた。</p> <p>シンナーに入れた発泡スチロールがあつという間に溶けていく様子にびっくりしていた。</p>

## (2) 学級活動2時間(教室)

時	主な学習活動( ) 本学習支援教材使用場面( )	支 援	児童の反応
4	<p>「未来に生きる君たちへ」の「君ならどうする?」にある場面の映像を見て、ワークシートに自分の考えを書く。</p> <p>ワークシートに書いた自分の考えを発表し、効果的な断り方について話し合いをする。</p>	<p>映像はプロジェクタを使って映し出し、一斉に見られるようにする。</p> <p>発表を通して意見交流をし、どんな断り方が良いのかを考える。</p>	<p>児童は、ペープサートの動画に興味深そうに見入り、それぞれが自分の考えをワークシートに意欲的に書いていた。</p> <p>同じような内容を書いた児童が多かったため、発表した児童は5名だった。</p> 
5	<p>これから自分たちはどのように生活していけば良いか話し合い、学級宣言を採択する。</p>	<p>学級会として話し合いをさせる。</p>	<p>積極的に発言する児童が多かった。10個の案が出たが、最終的に「どんなときもきっぱりとことわろう!」が学級宣言として採択された。</p>

## 3 結果と考察

(1) 「調べることができる」ことについて  
 調べる活動では、児童に調べる内容が掲載されているページを示したあとに取り組みさせた。その

ため、すべての児童が、ねらいに沿った内容をワークシートに記入することができた。また、授業終了後のアンケートの結果、「本学習支援教材は調べ学習にとっても役に立った」とすべての児童が

回答していた。理由は、「自分の疑問がすべて書いてあったから」、「知りたいことが分かりやすく見やすく書いてあったから」、「たばこ・飲酒・薬物の害のことがたくさん分かって、今後の生活にも役に立つと思ったから」などであった。

これらのことから、児童の調べ学習に有効であったと考えられる。

#### (2) 「知識を確かめることができる」ことについて

知識を確かめるクイズにおいて、たばこ・飲酒・薬物の害のクイズあわせて30問中、30点満点が23名中17名、29点が4名、28点が1名、27点が1名であった。それぞれの害についての知識を自分たちで調べた後だったこともあるが、満点の児童が多かった。まとめテストの結果を今年の資料と比較すると、平均点が3.7点高いという結果が出た。さらに、アンケートでは、学習したそれぞれの害について知識を確かめるのに役に立ったページはどれか（複数回答）という問いに対し、「クイズ」のページが16名、「実験」のページが22名、「豆知識」のページが17名であった。さらに、本学習支援教材を使って学習した感想を記述させた結果は図10のとおりである。

これらのことから、児童は、クイズ・実験・豆知識のページを活用することにより、身に付けた知識を確かめるために役に立ったと実感できたと考えられる。

図10 保健の学習後の感想

- |   |
|---|
| 1 教科書では、実験などを見ることはできないし、クイズもないのでソフトはいいなと思った。                      |
| 2 映像などがあって分かりやすかったし、クイズで自分はどこまで理解しているのかも分かった。                     |
| 3 クイズのページで自分の学習したことを復習できたことが良かった。                                 |
| 4 ソフトの方が教科書より具体的に書いてあって、とても分かりやすく勉強になった。実験やクイズのページなどもあって楽しく勉強できた。 |
| 5 実験のページで動画があって分かりやすかった。でも解説のページなどもあると良かった。                       |
| 6 ソフトの内容は3つで少ないけど、豆知識のコーナーや実験のページもあったので、内容が濃かった。                  |
| 7 大事なところは字が大きくなっていて見やすかった。誘われてもきっぱりと断れるようになったと思う。                 |

#### (3) 「知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付けることができる」ことについて

ペープサートの物語の動画を見た後児童が記述したワークシートには、「害があるから（未成年だから）、自分は絶対にしないよ。」、「20歳にな

ったら一緒にお酒を飲もうよ。」というようにきっぱりと断ろうとする内容を書いた児童がほとんどだった。授業後の感想では、「少し勇気が持てた。さそわれても断れるような気がした。悪いことをきちんと言うことが大切だとわかった。」、「もしさそわれても、きっぱり断りたい。でも断れないこともあると思うけど、できるかぎり、たばこや薬物にはかかわりたくない。今日の学習を忘れずに、これからも健康な体を守っていきたい。」など、きっぱりと断る、学習したことを生かしていきたいという感想を書いている児童が23名中18名であった。

これらのことから、ペープサートを活用した物語の動画を見せて考えさせることは、児童が実際に誘われる場面を自分のこととしてとらえ、知識をもとに誘いを断ろうとする態度を育てるために有効であったと考える。

### 研究のまとめと今後の課題

学習支援教材「未来に生きる君たちへ」を小学校6年生の保健指導において活用することで、児童が「たばこ・飲酒・薬物の害」について調べることができるとともに、知識を確かめることができ、その知識をもとに誘いを断ろうとする態度を身に付けることに役立つことが分かった。

今後は、児童から、実験の解説があると分かりやすいという意見があったので、実験の解説のページを作成し、さらに本学習支援教材の充実を目指したい。

#### 主な参考文献・引用文献・参考URL

- ・文部科学省 中学生用喫煙防止教育パンフレット「たばこに負けない」（2004）
  - ・文部科学省 小学生用喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育パンフレット「ストップ・ザ・薬物」（2004）
  - ・日本学校保健会 「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引き：小学校編」（1997）
  - ・群馬県警察本部 「ようこそ群馬県警察ホームページへ」（2005）<http://www.police.pref.gunma.jp/>
- Microsoft Windows Media Playerは、Microsoft社の登録商標です。

（担当指導主事 今井 俊一）

